

J02-01 クルーのためのマイ・ツール・ガイドライン

基礎の基礎、の工具選びに失敗しないために

My tool Guide Line for beginners

工具は手の延長であり、一生モノにもできます。ここで説明する工具類は、ジュニア選手に個人でぜひそろえてほしい最小限の「マイ・ツール」です。

1 エピソード

良い工具を駆使する(手に馴染ませる)ことが、技能と安全性の向上に欠かせません。また、良い工具は一生モノであり、長く使用することができます。どのRCでも、選手が個人(所有の)工具を持つことに、多いに賛成です。特に、工具などになじみのなかった選手には、ぜひ自分でお金を出して工具をそろえることを薦めます。

工具などそれまで触ったこともないような新人、将来工具を頻繁に使う職業につくわけでもない大半の人も、それでも学生時代にロウイングの中で、基本工具の扱いを身につけ、また最低限のマイツールを持ち、将来どこかで役に立てる...というのはずばらしいことです。ここでは、基礎の基礎として、ロウイング・マイツールとしての必要なものと選び方を説明します。

2 選定条件

考えようによっては、相反する要素を含み、結構厳しいのですが、選定条件として、以下のようなことが挙げられます。

- C1 基本のリギングができる品揃えであること。
- C2 限りなく点数が少なく、安価であること(約1万円以下)
- C3 普通のホームセンターで購入可能なこと。
- C4 卒業後も汎用工具として、永く利用できること。

3 選定リスト

基礎の基礎となる工具の品目と価格の目安(2006.5, 広島市内の複数のホームセンターでの実際の購入実績です):

コンビ・レンチ(7 - 17/6本組)	× 1組	¥ 578
(ラチェット・レンチ)(10mm)	× 1本	¥ 548
(ラチェット・レンチ)(17×19)	× 1本	¥ 998
(コンビ・レンチ)(21mm)	× 1本	¥ 998
プライヤー(200mm)	× 1本	¥ 880
六角レンチ(5 ~ 10本組)	× 1組	¥ 378
ドライバー(+)No. 2・100mm	× 1本	¥ 576
ドライバー(+)No. 1・75mm	× 1本	¥ 357
ドライバー(-)	× 1本	¥ 576
カッター(L)	× 1本	¥ 428
メジャー(5m)	× 1個	¥ 798
水準器(レベル)	× 1本	¥ 880 ~ 398
傾斜計(スラント・ルール)	× 1本	¥ 1880

以上13点の合計は、¥ 9875です。以下に、各工具の選び方を説明します。もちろん、ここで紹介した工具が唯一最良・最低価格というわけではないし、同等機能で財布と相談しながら、別のより好ましい選択肢もあるでしょう。

またこれら全てを一度に準備するのが難しければ、最低限、下線のもの(計¥ 3000程度)をまず確保し、他は、クラブ共用の工具や友達から借りても良いでしょう。できることから始めましょう。

4 レンチ類

スパナ(レンチ)は実に多様ですが、リギングでよく使うのは、10, 13, 17, 19mmあたり。またバックステイの調整に、オープンエンドの21mm(2本)が必要なことがあります。本当は全サイズを2セット欲しいのですが、まずはどこでもある6本組み1セットとし、少し大きなサイズ(19および21mm)の追加と、主要サイズの効率化・2本化で、しのいでも良いでしょう。

4.1 コンビネーション・レンチ

レンチには、メガネ(両端ともオープンエンド)、両口などありますが、両端が同サイズのコンビネーション(=片目片口)が最も使いやすいです。8, 10, 12, 13, 14, 17mmの6本組が一般的です。



これに、21mmのコンビネーション・レンチを追加します。2本欲しいところですが、予算の関係で1本。1本は借りる前提で。



4.2 ラチェット・レンチ

リガーボルトの着脱の迅速化のために、10mmのラチェットを追加します。写真は8mmとのコンビですが、8 - 13mmの選択もあります。写真では判りにくい(影をよく見て)けれど、フラット(ストレート)よりも、角度つきのものが扱いやすいです。



オールロックアセンブリやソールピン着脱の迅速化のために、17 - 19mmのラチェット・レンチを1本加えます。この写真のタイプは長くて力を入れやすいのです。



5 プライヤー

基本中の基本、プライヤーは欠かせません。スリップジョイントの(全長)200mmクラスが良いでしょう。



6 六角レンチ

よく使うのは6mmですが、安価なのでセットものとしします。写真は、10本組(1, 5, 2, 2.5, 3, 4, 5, 5.5, 6, 8, 10mm)ですが、よく使う4mmと6mmは、まずどのセットにも入っているの、どれでも良いでしょう。しかし鍵の束のようにリングに通してあるものは、推奨しません。



7 ドライバー類

ねじ回し(ドライバー)にも多様なタイプ・サイズがありますが、基本の基本としては、+ (プラス)のNo. 2 (普通のサイズ)とNo. 1 (少し小さいもの)、- (マイナス)の普通サイズの3本です。グリップの太いものを選びましょう(特に女子の場合)。

なおグリップ一つで、ビット(先端)を色々差し替えてできるタイプは、間に合わせ的で全く推奨できません。



8 カッター

やや大型のLサイズのカッターを用意します。刃の固定は、オーソドックスなネジでロックするものを選びましょう。オルファのハイパーL型で決まり。もし少し他のタイプは...と思ったら、さらに大きなタイプもお勧めです。



9 メジャー

スカルのスパンや、スリーブのオール全長が測れるように、4m以上は欲しいところです(写真は5.5m)。スパンの計測がしやすいように、伸ばしても中折れしにくい「幅広」(22~25mm)で、ストッパー付きのものを選びましょう。



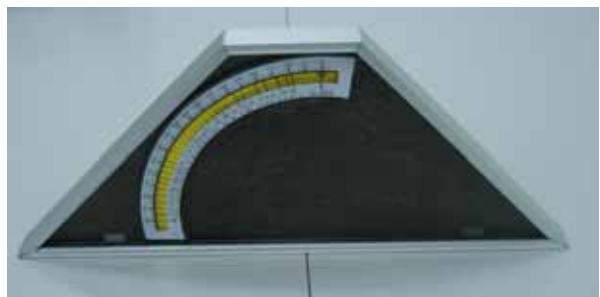
10 水準器

水平を見る水準器。多様な種類があって比較的値段も安く、それぞれ使えますが、基本の1本は、1xのレールにも横断方向に載せられる様に、比較的短いもの(230mm程度)を薦めます。気泡部分が大きく読みやすく、できるだけ精度の高いもの(パッケージに表示)を選びましょう。



11 傾斜計(スラントルール)

単純な気泡式の傾斜計が良いです。ダイヤル式のものには初動感度が悪く、リギングには使えないものが少なくありません。また、ロウイング専門のものもあるが、場合によってはかえって使いにくいこともあります。



工具を入手したら、一つずつに目印やネーム(テープ)を貼り付け、所有者がすぐに判るようにしておこう。また適当な工具箱を用意して、きちんと整理・管理して使いましょう。